

Vol.19
2025.01.01

SAITAMA CPA NEWS

日本公認会計士協会埼玉会



氷川神社（さいたま市）

CONTENTS

会長挨拶
日本公認会計士協会会長挨拶
財務省関東財務局長挨拶
埼玉県知事挨拶
副会長挨拶
専門委員会活動説明
謹賀新年広告

2024年度 活動報告
専門委員会実施報告
埼玉会行事
中小企業支援コンベンション2024
埼玉会青年部部員紹介
会員コラム

信頼の力を未来へ
jicpa
日本公認会計士協会 埼玉会

会長挨拶



土屋 文実男
埼玉会 会長

新年あけましておめでとうございます。

会員・準会員の皆さまにおかれましては、健やかに新春をお迎えのことと心より喜び申し上げます。また、日頃より埼玉会の会務活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。埼玉会の会員・準会員登録数は千名を超える規模となりました。多くの方に会務へご関心をお寄せいただけるよう、現執行部ではさまざまな取り組みを進めてまいりました。

近年、オンラインやハイブリッド型での研修や会議が定着し、効率的な活動が可能となり、多忙な会員の皆さまにもご参加いただきやすい環境が整ってきました。一方で、対面での交流がもたらす気づきや連帯感の重要性も再認識されています。コロナ禍で得た経験とノウハウを活かしつつ、人とのつながりを大切にすることを意識し、会務を進めております。

執行部では、役員会や正副会長・常任幹事会、各種委員会等を対面とリモートの併用（ハイブリッド開催）にて実施し、参加しやすい環境づくりを推進してまいりました。その結果、会務活動の活性化が図られ、多くの会員にご参加いただける場を提供できております。

研修会については、多くの会員にご出席いただけるよう、ハイブリッド開催を基本としており、多くの皆さまにご参加いただきました。また、2023年度より再開した「巡回研修」は、昨年7月に越谷市で実施しました。今後も埼玉県内各地で継続開催し、地元会員との交流や自治体への公認会計士のPR活動を進めてまいります。

親睦活動としては、昨年7月に1泊2日で宮城県への親睦旅行を実施しました。初参加者が半数近くを占め、幅広い年代の会員が交流を深める機会となり、執行部一同、喜びを感じております。今後も、多くの会員にご参加いただける魅力的な企画を検討してまいります。また、埼玉弁護士会との交流会（昨年10月実施）では、青年部所属の会員を中心に多くの方が参加しました。異業種士業との交流は新たな試みですが、若手会員にとって人脈の構築や視野を広げる貴重な場となったのではないかと思います。さらに、ゴルフコンペや日本スリーデーマーチへの参加、忘年会や各種同好会の活動など、対面でのイベントもコロナ禍以前の水準に戻りつつあり、活発化しております。

10月23日に実施した「中小企業支援コンベンション2024」では、100名を超えるご招待者・会員にご参加いただき、盛況のうちに終了しました。「中小企業のライフサイクルに応じた支援 ～行政・金融機関・専門士業と公認会計士の連携～」をテーマに、中小企業支援に関わる関係団体との意見交換の場を設け、連携強化を図ることができました。今後も埼玉会として、中小企業支援の一翼を担うための活動を継続してまいります。

広報活動では、小学生向けの会計教育プログラム「ハロー！会計」、中高生向けの「公認会計士紹介講座」、大学生向けの「公認会計士制度説明会」をそれぞれ実施しました。多くの学生にご参加いただき、公認会計士という職業への理解を深める良い機会を提供できました。引き続き、このような活動を通じて、一人でも多くの若い世代に公認会計士という職業を知っていただけるよう努めてまいります。

2022年6月にスタートした現執行部の事業運営も、残り半年となりました。最後まで責任を持って事業に取り組み、次期執行部への円滑な引き継ぎを目指して全力を尽くしてまいります。

最後に、皆さまにおかれましては、今後とも益々の我々日本公認会計士協会埼玉会へのご指導及びご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

社会の期待に応え、 更なる信頼を創る



日本公認会計士協会
会長
茂木 哲也

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

平素より協会の活動にご理解ご支援を賜り、心から御礼申し上げます。

会長に就任して約2年半が経過しました。この間、タグライン「信頼の力を未来へ」に込めた、「社会に新たな信頼を創ることで、より良い未来に貢献する」という想いを実現すべく会務運営に邁進してきました。これまで着実に会務を遂行できたことは、ひとえに皆様のご支援とご協力の賜物であり心から感謝申し上げます。年頭に当たって、未来に信頼のバトンを繋げていくために協会が取り組む重要な施策について述べさせていただきます。

1. 上場会社等監査人登録制度の的確な運用

上場会社の監査を担う監査事務所に対してより高い規律付けを行うための「上場会社等監査人登録制度」の導入を受け、協会は、監査事務所に対する指導と支援の両輪で対応を進めてきました。法令において定められたみなし登録上場会社等監査人の登録申請期限である2024年9月末の段階で、登録を受けた監査事務所は112事務所となりました。引き続き、上場会社等監査人に対し、整備した体制の運用状況や品質管理状況の確認を行い、自主規制機関として、今後も社会の期待に応えて参ります。

加えて、上場会社監査の担い手として中小監査法人が果たす役割が大きくなっていることから、協会は、上場会社の監査を担う中小監査法人の情報開示の充実を促進すべく、情報開示一覧サイトの公表に向けた準備を進めており、監査品質の更なる向上に向け、各種支援策の実施や指導に一層注力していきます。

2. サステナビリティ情報開示・保証の制度づくり

サステナビリティ情報の開示・保証基準の開発が世界中で急速に進んでおり、我が国においても金融審議会のワーキング・グループにおいて開示・保証制度の導入に向けた重要な検討が進められています。

公認会計士がサステナビリティの領域でリーダーシップを発揮し、制度整備に貢献していくべく、協会は、これまで培ってきた知見を基に、倫理、自主規制、研修、登録などの多岐にわたる分野を念頭に、在るべき制度的枠組みの検討を進め、制度設計の議論の場で関係団体等と積極的に対話して参ります。

また、人材育成や能力開発を更に進めるべく、昨年策定したJICPAサステナビリティ能力開発シラバスに沿ったウェビナーの継続的な開催や、公認会計士のサステナビリティに関する能力を担保する仕組みの確立に向けた検討を行って参ります。

3. 会計リテラシーの向上を通じた社会貢献

先般の公認会計士法改正により会計教育が協会の会則記載事項として位置づけられ、公認会計士が果たす役割の重要性がますます高まっています。

協会は、会計リテラシーの向上を実現していくべく、教育関係者等と連携を深めながら、日々子どもたちと接している教員を対象としたセミナーの開催や親しみやすい教育コンテンツの作成などを通じて、幅を広げた面での活動を進めていきます。

公認会計士試験の願書提出者数は2015年以降増加傾向にあり、資格の意義や魅力に対する理解が浸透してきた結果であると言えます。

公認会計士を取り巻く環境が変化し期待される役割も拡大している中で、これからも公認会計士が社会から信頼され続けるためには、環境の変化に適応して絶えず資質を向上させていくことが重要です。公認会計士試験から継続的専門能力開発に至る一連の過程を一体的・包括的に検討しており、改革のロードマップを明確にしていきます。

会員の皆様におかれましても、日々研鑽に励んでいただき、社会からの信頼に応え、よりよい未来の実現に貢献されることを期待しています。

末筆ながら、皆様の益々のご健勝とご活躍を祈念し、年頭の挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶



財務省関東財務局長
目黒 克幸

新年あけましておめでとうございます。

日本公認会計士協会埼玉会及び会員の皆様方におかれましては、日頃より私ども関東財務局の業務運営に対しまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

土屋会長をはじめとする執行部の皆様方のご尽力のもと、監査及び会計の専門家として、財務に関する情報の信頼性確保という経済活動の基盤を支える大変重要な役割を果たされていることに、改めて深く敬意を表します。

さて、近年の会計監査を取り巻く経済社会情勢の変化を踏まえ、開示制度のあり方に関する議論・見直しが活発に進められてきております。四半期開示の見直しが昨年施行されたほか、通常国会において、公開買付制度・大量保有報告制度の見直しに係る金融商品取引法の改正が成立したところです。

これに加えて、近年の開示制度において重要なテーマである企業のサステナビリティ開示の充実やコーポレートガバナンス改革につきましても、金融審議会での議論のほか、様々な取組みが進められており、貴会及び会員の果たすべき社会的役割や取組・活動が益々重要となっております。何卒、引き続きのご理解・ご協力のほどをよろしくお願いいたします。

また、貴会の皆様方におかれましては、従来から社会貢献・会計教育活動の一環として、学校での会計講座の実施や、地域の課題解決のために地域の自治体や経済諸団体等と積極的に連携して地域に根差した活動をされておられると承知しております。私ども関東財務局におきましても、所掌する業務を通じて地域経済の一層の発展に貢献していくことを重要な使命としており、貴会における地域貢献活動を大変心強く感じているところです。

特に貴会の活動とも関わりのある中小企業支援との関連では、当局の金融行政においても地域金融機関による事業者支援の後押しを進めてきております。コロナ禍の早期の段階から、苦境に立つ事業者の資金繰り支援を促す一方で、管内の各都県毎に、地域金融機関のほか、関係当局、支援機関、公認会計士をはじめとする専門家などが事業者支援のために緊密に連携しあえる態勢を構築するため、関係者間の連携強化を進めてまいりました。

現状では、社会経済活動の正常化が進み、いわゆるゼロゼロ融資の返済が本格化する一方で、事業者にとっては物価上昇や人手不足への対応等も必要となるなど事業者の経営課題は多様化してきております。こうした環境変化を踏まえ、昨年3月には金融庁・経済産業省・財務省連名で「再生支援の総合的対策」が策定・公表され、金融機関に対し、資金繰り支援にとどまらない、事業者の実情に応じた経営改善・事業再生支援の一層の推進を求めてきております。また、昨年8月に金融庁から公表された今事務年度の金融行政方針では、金融機関によるM&A支援を促進するという方針が改めて盛り込まれ、関東財務局においても、昨年10月にM&A支援をテーマとする地域金融機関職員向けのセミナーを開催したところです。

引き続き、貴会や会員の皆様とも連携させていただきながら、当局としても地域金融機関による事業者支援の後押し等を通じた地域貢献に取り組んでまいりたいと考えておりますので、何卒よろしくようお願いいたします。

結びとなりますが、埼玉会の皆様方には、今後とも会計の専門家として厳正な監査の実施と地域経済の持続的な発展に向けての一層のご尽力をお願い申し上げますとともに、日本公認会計士協会埼玉会のさらなるご発展と会員の皆様方の益々のご健勝、ご活躍を心から祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

持続可能で活力ある 埼玉を次世代につなぐ



埼玉県知事
大野 元裕

明けましておめでとうございます。

日本公認会計士協会埼玉会の皆様には、健やかに令和7年の新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。また、日頃より、監査・会計の専門家として本県の健全な経済活動の維持・発展のため御尽力を賜り、深く感謝申し上げます。

昨年は、埼玉県が生んだ偉人、渋沢栄一翁が描かれた新一万円札が7月に発行され、県では、「渋沢って、埼玉らしい」のキャッチコピーの下、渋沢翁が埼玉出身であることを大いにPRしました。

また、パリ2024オリンピック・パラリンピック競技大会などでは、県ゆかりの選手が大活躍し、私たちも大変勇気づけられました。

県産農産物においても、いちごの「あまりん」のほか梨の「彩玉」など県オリジナル品種が、全国選手権で相次いで最高金賞を受賞するなど、本県に強力な追い風が吹いた年でした。

さて、既に本県においても人口減少が進む中で、人口減少・超少子高齢社会の到来への対応は待ったなしの状況と言えます。

また、激甚化・頻発化する自然災害、迫りくる首都直下型地震などの危機にも備えなければなりません。

この「人口減少・超少子高齢社会の到来」と「激甚化・頻発化する自然災害など、危機への対応」という時代の転換点における2つの歴史的課題に敢然と立ち向かい、子や孫の世代に対する責任を果たしていくことが我々の使命です。

今年も緒に就いたこれらの施策を確実な軌道に乗せていきます。

人口減少・超少子高齢社会への対応として、「埼玉版スーパー・シティプロジェクト」による持続可能なまちづくり、DX推進による生産性向上、サーキュラーエコノミーの推進、円滑な価格転嫁に向けた支援や人手不足対策等による強い経済の構築などの施策を更に推し進めていきます。

特に本県が開発した価格転嫁を支援する各種ツールは、多数の道府県のホームページからもリンクされ、全国知事会優秀政策にも選定されました。本県が国に先駆けて政策をリードしていきます。

また、「さいたまけん★こどものこえ」などにより、子どもや子育て当事者の意見を聴き、県の子ども施策に反映させることで、安心して子どもを生み育てられる環境の整備を進め、「こどもまんなか社会」の実現を目指します。

女性、高齢者、障害者、性的マイノリティ（LGBT等）など、あらゆる人に居場所があり、活躍でき、安心して暮らせる社会の実現に向けて、施策を力強く推進していきます。

さらに、激甚化・頻発化する災害などの危機に対しては、県土の強靱化を図り、能登半島地震などの検証を踏まえ、入念な備えを進めるとともに、平時から様々なシナリオ作成や訓練を繰り返し、関係機関との強固な連結を進める「埼玉版FEMA」の推進により、危機管理・災害対応力を強化します。

本県が目指す将来像の実現に向け各取組を更に深化させるとともに、これまで取り組んできたDXの第1段階、アナログからデジタルへの転換の成果を土台に、第2段階としてデジタルを前提に従来の仕事のやり方を見直すTX（タスク・トランスフォーメーション）を推進し、県民サービスをより向上させていきます。

今年5月には、天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、本県で全国植樹祭が開催されます。森林・みどりを利用しながら守り育てるとともに、木材製品を積極的に使っていただくなど、森林資源の循環利用を図る「活樹」に取り組む契機としていきます。

夏には、埼玉初のイノベーション創出拠点「渋沢MIX」を開設します。渋沢翁の偉大な実績にあやかり、人々が出会い・混ざり合い・つながることで、新たなイノベーションが共創される場となるよう進めてまいります。

今年の干支「巳（み）」は、実を結ぶ年とされています。今年が埼玉県にとって実り多き年となるよう、皆様と共に「ワンチーム埼玉」で県政に取り組み、活力ある埼玉を次世代につないでまいります。

副会長挨拶



副会長（経理）
工藤 道弘

あけましておめでとうございます。経理担当副会長の工藤道弘でございます。
年が明け、私の経理担当副会長としての任期も残り半年となりました。令和6年度の上半期においては、今年度の最大のイベントである中小企業支援コンベンションが開催され、成功裏に終了することができ、支出の面においても予算の範囲内で収めることができました。会員の皆さまのご協力の賜物と感謝申し上げますとともに、経理担当としてはほっとしているところです。

あとは、今年度の決算の取りまとめ及び来年度の予算書作成を残すのみとなりました。決算の取りまとめとしては、正確に決算作業を進め、かつ適正な決算書の作成に努めてまいります。予算書の作成は、来年度以降の新執行部の活動の基礎となる重要な作業です。活動内容を漏れなくすくい上げ、必要な予算を過不足なく適切に計上し、新執行部の活動がスムーズにスタートできるように努めてまいります。

3年間の会務の集大成として、気を引き締めて取り組んでまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



副会長（厚生）
飯野 浩一

明けましておめでとうございます。厚生担当副会長の飯野浩一でございます。
会員の皆様におかれましては、埼玉会の活動にご理解とご協力いただいておりますこと、感謝申し上げます。

昨年は、仙台方面への会員親睦旅行、日本スリーデーマーチへの参加、会員親睦ゴルフコンペ開催の他、人間ドックへの助成、慶弔への対応、忘年研修会と懇親会の設営等々実施致しました。また、同好会活動や青年部への支援も行っていました。一部実施できなかった事業もございましたが、会員サービスとしてある程度のことのできたのではと考えております。

本年も引き続き、多様化する会員皆様のご要望を伺いつつ、地域の公認会計士である仲間の親睦と相互の理解を深められるように活動してまいりますので、変わらぬご支援のほどよろしくお願い致します。また、ぜひとも各種厚生事業にお気軽にご参加いただきますようお願い申し上げます。



副会長（研修）
中澤 仁之

皆様、新年おめでとうございます。研修委員会担当の中澤です。
昨年も関係各位の皆様のご尽力のおかげで、充実した内容の数多くの研修会を開催することができました。新春研修会、WELCOMEガイダンス、中小マイスタープラス研修会、各専門委員会主催研修会、越谷市での巡回研修会、中小企業支援コンベンション、忘年研修会等々です。

また前年度である2023年度のCPD履修結果ですが、埼玉会の義務達成率は97.8%となりました。本年度も残り3か月を切りましたが、皆様の履修状況はいかがでしょうか。順調に単位を取得されていますでしょうか。すべての会員に義務を達成していただきたく、何卒宜しくお願い申し上げます。

最後に、私の任期も残りわずかとなりましたが、引き続き充実した内容の研修をお届けできるように努力してまいりますので、宜しくお願い申し上げます。



副会長（業務）
佐久間仁志

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

業務委員会では、公認会計士業務の普及のため関東財務局、地方公共団体等への表敬訪問のほか関係諸団体への連絡会等を通じて情報交換を行い、また、中小企業に対して会員が行う業務のために外部関係諸団体との連携を図るとともに埼玉友好士業協議会の活動に参加して積極的な地域貢献を行っております。

本年度は、中小企業支援コンベンションPTを立ち上げ、令和6年10月23日に中小企業支援コンベンションを開催しました。関東財務局、関東経済産業局、埼玉県、さいたま市、川越市、越谷市、各種中小企業団体及び金融機関、専門士業団体、会計士協会本部、東京会、神奈川県会、千葉会、そして埼玉会会員、約100名が参加し、中小企業のライフサイクルに応じた支援について、事例の発表とパネルディスカッションを行いました。懇親会では参加された方々で充実した意見交換等が行われました。

その他、9月20日に埼玉県知事へ表敬訪問を行い、11月2日には埼玉友好士業協議会主催の「暮らしと事業のよろず相談会」が浦和コルソで開催され、埼玉会からは4名が相談員として参加しました。また、10月15日に埼玉弁護士会との交流会を開催し、両会で50名近くの出席者が情報交換と友好を育みました。さらに、事業承継ネットワーク会議、埼玉県中小企業活性化協議会、埼玉県商工会議所議員大会、彩の国中小企業支援ネットワーク会議に参加し、関係諸団体及び各種金融機関等と情報交換を行いました。



副会長（調査研究）
村田 克也

新年明けまして、おめでとうございます。

埼玉会の会員の皆様には、健やかに新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

調査研究委員会は、8つの専門委員会（公会計専門委員会、学校法人専門委員会、公益法人等専門委員会、社会福祉法人専門委員会、NPO法人専門委員会、税務専門委員会、中小企業支援対応専門委員会、医療法人専門委員会）を管轄しております。委員会活動は主に次のとおりです。①自主的な勉強会 ②研修会の企画・運営・実施 ③埼玉会会員である本部専門員等から本部情報をいち早く入手し、必要に応じて情報共有を図る ④各々の専門分野からの埼玉会への問い合わせの受け皿など。調査研究委員はその窓口や調整の役割を果たしております。

今年度は中小企業支援対応専門委員会が中小企業支援コンベンションの支援を行いました。

委員会のさらなる発展には、皆さまの積極的な参加が必要不可欠でありますので、お気軽にご連絡いただければと思います。



副会長（広報）
大塚 健一

新年あけましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になり、心より感謝申し上げます。本年もよろしくお願いいたします。

広報委員会では会報誌「SAITAMA CPA NEWS」を年に2回発行し、会員・準会員の皆様に埼玉会の活動を発信しています。

また、会計教育講座として小学生向け会計教育「ハロー！会計」や高校生を対象とした「キャリア教育講座」、大学生を対象とした「公認会計士制度説明会」を実施しています。将来を担う学生の皆さんに公認会計士という職業の魅力をお伝えするとともに、会計の重要性についても広く伝えていくことは私たち公認会計士の一つの使命と考えています。

会報誌の発行と会計教育講座の実施にあたっては、「SAITAMA CPA NEWS特別委員会」と「ハロー！会計・制度説明特別委員会」の委員として参加していただいた会員・準会員の皆様にご協力をいただいております。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

本年も会員・準会員の皆様の変わらぬご支援とご協力を宜しくお願い申し上げます。

公会計 専門委員会



委員長 柴田 英樹

公会計専門委員会は現在19名で活動しております。公会計専門委員会は委員が公会計及び公監査に関する専門性を高めることを支援し、かつ会員間の情報交換を推進することを目的として活動しております。令和6年度の活動としましては、7月上旬に公会計専門委員会の委員会をオンラインにて開催し、11月20日に公会計専門委員会主催研修会として公正取引委員会から職員の方をお招きしまして「包括外部監査従事者養成講座～入札談合等関与行為防止法及び下請法を中心に～」を実施し、大変ご好評をいただきました。

さらに公会計専門委員会では包括外部監査従事希望者のリストを作成して、これを埼玉会会員の包括外部監査責任者の方にお送りし各責任者の方に認識していただくことを今年度より試みております。

公会計専門委員会では新規のご入会を歓迎しております。公会計・公監査にご興味がある方のご参加を心よりお待ちしております。

学校法人 専門委員会



委員長 井上 正之

学校法人専門委員会は、学校法人の会計監査や税務に関与される会員・準会員の皆様をはじめ、興味がある、知見を深めたいなど、様々な意欲をお持ちの皆様にご参加いただいております。昨年は11月に専門委員会を開催し、意見交換等をさせていただきました。また、本年2月には、例年と同様に、埼玉県総務部学事課の担当者をはじめとする外部の方をお招きして研修会を開催する予定ですので、奮ってご参加いただければ幸いです。

学校法人専門委員会では、会員・準会員の皆様に学校法人監査の知見・経験をさらに深めていただけるような場を提供できればと考えております。特に改正された私立学校法が令和7年4月1日に施行されることとなり、実務に様々な変更点が出てくることが予想されますので、共に学んでいただける方が少しでも増えていただくと嬉しく思います。

公益法人等 専門委員会



委員長 中村友理香

公益法人等専門委員会は、公益法人への関与の有無にかかわらず、知見を深めたいという会員が参加して活動しています。

例年、当専門委員会では、初回の委員会で年度計画を策定し、研修内容を企画の上、実施しています。会員相互の質疑応答も行っています。

令和6年度は、令和7年4月1日からの公益法人認定法及び公益法人会計基準の改正に合わせ、10月に中田ちず子先生による公益法人会計基準の改正に関する研修を、12月に協会本部非営利法人委員会公益法人専門委員会専門委員の有田一貴先生をお招きし、公益法人会計基準の改正をベースに認定法やガイドラインの改正についても講義いただきました。

委員会の開催はリモートで、研修はリモートと会場来訪との併用型ライブ研修と、参加者の利便性を高め、会員の皆様が公益法人の会計・監査・税務に触れる機会を少しでも増やしたいと企画しています。来年度はこのような内容の研修を受けてみたいというご希望をお持ちの先生がいらっしゃいましたら、是非、私もしくは事務局までご意見をお寄せください。

平成20年12月に法人法等が施行されてから約16年経過し、再び公益法人の制度や会計が大きく変わります。

公益法人の会計・監査・税務等に少しでも興味を持たれている会員の皆様、強制的に何かしなければいけないという課題もありませんので、お気軽にご参加ください。

お待ちしております。

社会福祉
法人
専門委員会

委員長 大野 夏美



当初は、社会福祉法人の法定監査対象が段階的に拡大されてゆくことが想定されていたものの、なかなか拡大される様子がないようですね（この原稿を記載させていただいている令和6年9月下旬）。

公認会計士としては、法定監査の拡大は望ましいのかな？！と思う反面、インフレ、人件費の上昇により、経営に苦しむ社会福祉法人が多くなり、そういう法人へのアドバイスなどができたらいいのにな、と個人的には思う所存です。

委員会として、公認会計士業務としての動きがないからこそ、いつもと違うことをやってもいいのかな、とも思いつつ、皆さま、社会福祉法人だけに関与されていらっしゃる訳ではありませんから、どういう委員会運営を行いましょうか、と考える日々でございます。会員の皆さまへ、微力ながら従来からの行政との繋がりを大切にしつつ、情報共有を図れたらいいと思う毎日です。情報共有を行うためには、多くの委員会メンバーに参加していただけますと、より有意義な活動が可能になります。

今は社会福祉法人がメインピックではないことは重々承知の上ですが、来年度の委員会におきましては、ぜひ、多くの会員の皆さまのご参加を、お待ちしております！

NPO法人
専門委員会

委員長 深谷 豊



NPO法人専門委員会では、NPO支援を目的とし、埼玉県との情報交換やNPO法人に関する研修を毎年実施しております。例えば、恒例として毎年年末近くには埼玉県共助社会づくり課にお願ひし、現状における埼玉県のNPO支援の取組状況等について出前講座をしていただき、またNPO専門法人委員会としても独自のテーマで研修を実施しております。2024年11月には出前講座（テーマは埼玉県におけるNPO支援の取組状況）と、NPO法人に関する会計税務相談事例の解説（酒井健一会員による「みんなで解決！質問掲示板」10年の軌跡より抜粋）を実施しました。

これからもNPO法人専門委員会としては、NPOの情報開示に寄与し、NPOの信頼性向上に貢献し、様々な社会課題を解決するNPO法人を支援していきたいと考えています。

NPO法人を顧問にお持ちの方はもちろん、今後NPO法人に関わりたい方には是非NPO法人専門委員会に委員としてご参加いただきたいと思います。

税
務
専門委員会

委員長 森山 謙一



税務専門委員会では、活動の中心としてCPDの必修である税務研修2単位を確保する機会を会員の皆様にご提供できるように、主に研修会を企画し実施しております。また、あわせて租税調査会等の税務関連の会議への参加や、関係機関への表敬訪問などを通して情報収集や意見交換を行っております。

当年度におきましては、8月27日に関東信越国税不服審判所の所長様及び審判官の方を講師にお迎えし、恒例となっております研修会を開催させていただきました。翌月の9月27日には、こちらも恒例となっております関東信越国税局研修会を開催させていただくことができました。また、同日に関東信越国税局の税理士監理官の方をお迎えしましての綱紀監察関連研修会を、前年度に引き続き開催させていただいております。こちらの研修会も、早いもので3年連続して開催させていただいておりますので、今後も回を重ねさせていただき、前述の2つの研修会とあわせて恒例の研修会としていただけるように実施してまいります。

また、今後におきましては、研修委員会や青年部とも連携しての研修や、近年の税務実務におけるニーズ等を反映した内容の研修をご提供できるように企画してまいります。

中小企業 支援対応 専門委員会



委員長 青山 裕之

中小企業支援対応専門委員会は「公認会計士による中小企業支援のプレゼンスの向上」を目的として、中小企業支援にあたる委員の交流促進、情報交換、研修の企画・運営等に取り組んでいます。

昨年で開催された中小企業支援コンベンションでは、当専門委員会の委員を中心として企画・運営に動き、中小企業の現状を踏まえ、公認会計士のスキルセットや具体的な業務事例等を示しながら、行政・金融機関・専門士業等と公認会計士が連携して中小企業支援に取り組むことへの重要性や将来的な展望を発信しました。

コンベンションの開催後は、複数機関との具体的な連携の協議も開始するなど一定の成果・反響があり、会員の業務拡充に結び付けていくための具体的な議論もはじまっています。

委員会では、毎回、メンバーの近況・トピックの共有を恒例としており、個性あふれるメンバーの話は、共感・刺激・課題解決の種となり、とても有意義な時間です。これに加えて、外部機関との具体的な連携事業もあり、今後、委員会のさらなる盛り上がりが期待されます。

引き続き委員会活動の充実を図って参りますので、ぜひ多くの会員の皆様にご参加いただけますと幸いです。今後ともよろしくお願ひします。

医療法人 専門委員会



委員長 岩波 一泰

医療法人専門委員会では、年に数回会議を開催し、医療法人に関する会計・税務・監査、病院等の経営状況等の変化等について情報交換を行っております。委員の中には、既に医療法人の監査業務に従事している委員もいれば、会計指導、税務業務も含め医療法人に関する業務に現在従事していない委員もあり、委員の医療法人に関する従事状況は様々です。また、令和6年においては、公的病院に資金の貸付を行っている関東財務局理財部融資課の方々と昨今の病院等を取り巻く状況等について意見交換を実施しました。

医療法人を取り巻く状況に関しましては、平成29年4月2日以降開始する事業年度からは一定規模以上の医療法人に公認会計士監査が導入され、それに先立ち平成28年に「医療法人会計基準」(平成28年厚生労働省令第95号)が制定されました。また、令和5年8月以降に決算期を迎える医療法人から毎年、会計年度終了後原則として3ヶ月以内に病院・診療所毎の経営情報(損益情報、職種別給与総額及びその人数に関する情報)を都道府県に報告しなければなりません。このような状況に対し、監査、経営指導等を行う公認会計士への期待が高まっております。

最後に、医療法人の監査に既に従事している会員、従事を希望される会員、医療法人の業務に興味のある会員の方がいらっしゃいましたら、是非委員会の活動に参加ください。会員皆様の参加をお待ち申し上げております。



謹賀新年

KPMG あずさ監査法人

有限責任 あずさ監査法人 北関東事務所

〒330-0854

さいたま市大宮区桜木町1丁目10番地17

シーノ大宮サウスウイング14階

TEL 048-650-5390

FAX 048-650-5381

公認会計士協同組合

理事長 青木 俊雄

〒102-0074

千代田区九段南4-3-13

麹町秀永ビル3階

TEL 03-3515-8960

FAX 03-5226-3505

E-mail info@cpacos.or.jp

Deloitte. トーマツ.

デロイトトーマツ

有限責任監査法人トーマツ さいたま事務所

〒330-0854

さいたま市大宮区桜木町1丁目9番4号

エクセレント大宮ビル

TEL 048-641-7220

FAX 048-641-7256

株式会社 **日本会計士学館**

代表取締役社長 深代 勝美

〒102-0074

千代田区九段南4-3-13

麹町秀永ビル3階

TEL 03-3515-8950

フリーダイヤル 0120-393-293

飯 野 浩 一

〒349-0121

蓮田市関山1丁目1番17号

TEL 048-769-5501

岡 庭 武 利

〒341-0035

三郷市鷹野1-340

TEL 048-956-1715

FAX 048-955-4228

大 塚 健 一

〒354-0024

富士見市鶴瀬東2-7-23

小笠原 薫 子

〒340-0052

草加市金明町446-8

TEL 048-944-1061

URL <https://ogasawara-accounting.com/>



工藤道弘

〒330-0844
さいたま市大宮区下町3-7-1-F804号
TEL 048-648-9598
E-mail kudo.cpa@nifty.com

熊木雄太郎

〒335-0016
戸田市下前1-13-15
TEL 048-443-3301

小山彰

〒333-0848
川口市芝下二丁目3番11号
TEL 048-266-2884
FAX 048-267-3095

佐久間仁志

〒350-1122
川越市脇田町15-15 古賀ビル301号
TEL 049-228-3336
FAX 049-228-3337

柴田英樹

〒336-0021
さいたま市南区别所7-6-8
ライブタワー武蔵浦和内
TEL 048-816-3990
E-mail shiba-h@topaz.plala.or.jp

中澤仁之

〒330-0801
さいたま市大宮区土手町2丁目99番地
アーバンレックス102
TEL 048-871-6941
FAX 048-871-6944

西川正純

〒350-0063
川越市幸町1番地7
TEL 049-224-0320
FAX 049-224-0636

能見孟俊

〒360-0037
熊谷市筑波1丁目195
TEL 048-524-7272
FAX 048-524-7273
E-mail nohmi@mvh.biglobe.ne.jp



蛭川 俊也

〒360-0033
熊谷市曙町3-62-2
TEL 048-525-0685
E-mail cpahiru@tkcnf.or.jp

宮原 敏夫

〒330-0063
さいたま市浦和区高砂2丁目2番3号 8階
TEL 048-834-1155 (代)
FAX 048-834-1156

吉島 一良

〒357-0036
飯能市南町2番2号
TEL 042-974-4166





2024年度

活動報告（7月～12月）

● 7月1日（月）

関東財務局来会（前局長退任挨拶）

● 7月2日（火）、8月6日（火）、9月3日（火）、
10月1日（火）、11月1日（金）、12月3日（火）
総務委員会

● 7月3日（水）

関東財務局来会（新理財部長就任挨拶）

● 7月3日（水）

埼玉友好士業協議会「第1回幹事会」及び「定例会」
出席

● 7月4日（木）、12月4日（水）

SAITAMA CPA NEWS 編集会議

● 7月5日（金）

埼玉県中小企業活性化協議会「全体会議」出席

● 7月16日（火）、8月8日（木）、9月6日（金）、
10月8日（火）、11月8日（金）、12月11日（水）
正副会長・常任幹事会

● 7月24日（水）、9月25日（水）、11月26日（火）
役員会

● 7月24日（水）

関東財務局来会（新理財部次長就任挨拶）

● 7月25日（木）、8月13日（火）、9月20日（金）
中小企業支援コンベンションPT

● 8月5日（月）、9月9日（月）、11月11日（月）、
12月9日（月）
厚生委員会

● 8月22日（木）

関東財務局来会（新局長就任挨拶）

● 8月29日（木）

研修委員会

● 9月3日（火）

埼玉友好士業協議会構成会としてさいたま市長表敬
訪問

● 9月19日（木）

埼玉友好士業協議会「第2回幹事会」出席

● 9月27日（金）

関東財務局との連絡会出席

● 10月30日（水）

埼玉県商工会議所議員大会懇親会出席

● 11月1日（金）

埼玉県中小企業診断協会「中小企業診断士の日記念イ
ベント」懇親会出席

● 11月7日（木）

中間監事監査

● 11月15日（金）

東京会主催第10回慶寿会出席

● 11月19日（火）

選挙管理委員会

● 11月20日（水）

第21回彩の国中小企業支援ネットワーク会議出席

● 12月2日（月）、12月10日（火）

本部期中監査（会計）、本部監事監査（業務）

専門委員会実施報告

2024年7月～12月

①公会計専門委員会

2024年7月1日（月）第1回会議
2024年11月20日（水）研修会

②学校法人専門委員会

2024年11月14日（木）第1回会議

③公益法人等専門委員会

2024年7月19日（金）第1回会議
2024年10月29日（火）第2回会議
2024年10月29日（火）研修会
2024年12月23日（月）研修会
2024年12月23日（月）第3回会議

④社会福祉法人専門委員会

2024年8月2日（金）第1回会議
2024年8月7日（水）訪問
埼玉県福祉部福祉監査課、さいたま市福祉局生活福祉

部監査指導課、さいたま市子ども未来局子ども育成部
子ども・青少年政策課

2024年11月27日（水）第2回会議

⑤NPO法人専門委員会

2024年8月21日（水）第1回会議
2024年11月28日（木）研修会

⑥税務専門委員会

2024年8月27日（火）研修会
2024年9月27日（金）研修会
2024年9月27日（金）第1回会議

⑦中小企業支援対応専門委員会

2024年7月22日（月）第1回会議
2024年11月22日（金）第2回会議

⑧医療法人専門委員会

2024年11月13日（水）第1回会議

税務専門委員会主催研修会

国税不服審判所研修会（8/27実施）



左から1番目：木村正之様（関東信越
国税不服審判所長）
左から3番目：山内航治様（関東信越
国税不服審判所国税審判官）

税務専門委員会主催研修会

国税局綱紀監察研修会（9/27実施）



左から2番目：市川道則様（関東信越
国税局税理士監理官税理士専門官）

税務専門委員会主催研修会

国税局税制改正研修会（9/27実施）



左から1番目：梅澤圭一様（関東信越
国税局審理課主査）

税務専門委員会主催研修会

国税局税制改正研修会（9/27実施）



左から1番目：籾野正典様（消費税課
係長）
左から2番目：西澤沙織様（消費税課
連絡調整官）

公益法人等専門委員会主催研修会

公益法人の会計に関する諸課題の
検討状況について（10/29実施）



中田かず子様（内閣府公益認定等委員会
会計に関する研究会参与、公認会計士）
夜開催研修会リモート登壇リモート受講

公会計専門委員会主催研修会

包括外部監査従事者養成講座
（11/20実施）



左から1番目：川島広己様（公正取引
委員会事務総局経済取引局総務課課長
補佐、弁護士）
左から2番目：児玉貴士様（公正取引
委員会事務総局経済取引局取引部企業
取引課係長）
柴田英樹会員（公認会計士、公会計専
門委員会委員長）

埼玉会主催親睦ゴルフ会

去る令和6年10月2日、清澄ゴルフ倶楽部において親睦ゴルフ(参加者12名)を開催いたしました。

ゴルフ場は、クラブハウスの周りに池が多いこともあって、眺めはとても綺麗でした。また、この夏は猛暑におそわれ真夏日が過去最高を記録するなど9月に入ってもとても暑かったのですが、当日は暑さもほどほどに好天に恵まれました。

今回女性2名(本澤先生、白井先生)の参加をいただき華やかなゴルフとなりました。お2人ともゴルフがお上手で、本澤先生はニアピン賞を白井先生はドラコン賞を獲得しておられました。

私の組としては、宮原先生、西田先生、白井先生だったのですが、とても和気あいあいでした。第1打目のドライバーショットでは男性陣が白井先生に追い越されるのもあまりちょっとショックでしたが、「女性のティーイングエリアが前過ぎて男女逆差別ではないか」と言い訳も交えながら楽しいゴルフでした。

スコア的にはストレスを感じた先生もいらしたかもしれませんが、結果はどうあれ、1日体を動かし自然の中で空気を吸って、仕事のストレス発散ができたのではないのでしょうか。

幹事の池田先生大変お世話様でした。また来春の親睦コンペの企画よろしくお願いします。(深谷 豊)



日本スリーデーマーチ

11月3日日曜日、埼玉県東松山市を中心とした自然豊かな比企丘陵を舞台に繰り広げられる国際ウォーキングの祭典「日本スリーデーマーチ」に小山元会長以下、13名の会員と会員ご家族(御令嬢2名)の総勢15名で今年も参加してまいりました。

例年と同じ10キロ(実測13キロ)にエントリーし、今年も好天に恵まれ、森林公園の中でお弁当を食べつつ、さわやかな汗をかいてまいりました。10キロコースも3日間それぞれ別のコースとなるのですが、今回の森林公園を通るコースは好評のようでした。



終了後の懇親会は、例年の東松山駅前から場所を替え、川越駅付近のやきとり居酒屋で開催しました。開始時は疲れにより静かに始まったものの、最後はやはり大盛り上がりで会は終了しました。数名の方は、2次会へ流れまして、先輩たちのその元気さには感服いたしました。

懇親会の参加は任意ですので、ご自身の健康や楽しみのために、ご家族や会計士のご友人とのゆっくりとした時間を過ごすために、いろいろな形での参加ができますので、皆様も来年はぜひともご検討ください。(飯野 浩一)



ゴルフ同好会主催ゴルフコンペ

梅雨の時期ではありましたが7月12日金曜日に埼玉会ゴルフ同好会のコンペを中軽井沢カントリークラブにて開催いたしました。

今回は軽井沢でどうかという同好会委員からの提案もあり、軽井沢在住の私としては渡りに船と予約を進め、開催の運びとなりました。

当初は遠方の先生方も多く、不安もありましたが、結果として9名3組の申込みをいただき開催できました。

残念ながら雨が強くなり12Hで中止となりましたが、楽しくラウンドすることができました。

同じ組の小宮山先生、白井先生とは雨でもいからこのまま回りたいと話していたほど、楽しく、拮抗したラウンドを楽しみました。それぞれこのまま続けていけば……と期待していたように思います。ぜひリベンジ？再試合？と話しながら6H分カートに乗ってマスター室まで戻りました。

終了後のパーティでも参加した先生方が盛り上げてくださり楽しく終了できました。

ハーフでの集計となりましたが波のあった私が新ペリアではいい思いをさせていただきましたが、グロスでは順当に深谷先生と本澤先生が結果を出されており、流石上手な方は天候は関係なく結果を出すものだと思えました。

軽井沢在住の身としてはわざわざお越しいただいた先生方へ感謝するとともに、軽井沢でのまたの機会をいただきたいとの思いを強く持ちました。

来年以降の幹事の先生方にはまた軽井沢での開催を検討ください。

最後に事務局の小林さんには案内の作成や参加者の皆様への連絡などで主体的に対応いただいたことを、この場を借りてお礼申し上げます。

(鎌田 竜彦)



埼玉会写真同好会

埼玉会写真同好会には、現在13名の会員が所属しています。年に2～3回埼玉会研修室に各自の作品を持ち寄り、撮影時の話しや写真の撮り方のヒントなど楽しい時間を過ごしています。また、その後は近くで懇親会を行い親睦を深めています。昨年11月には、越谷市の花田苑と野鳥の森で野外撮影会を開催しました。花田苑では、なかなかきれいな紅葉に巡り合うことができませんでしたが、野鳥の森では、多くの可愛い小鳥を撮ることができ楽しい一日となりました。

写真同好会は、単に写真が好きという仲間の集まりです。「写真は撮らないけど見るのが好きな人」、「撮った写真を誰かに見てもらいたい人」、「写真は好きだけどスマホの写真でもいいかなど迷っている人」、「ちょっとだけ写真に興味がある人」、このような写真好きな方をお待ちしています。(西川 正純)



埼玉会同好会委員募集のご案内

埼玉会では会員・準会員間の親睦を深める目的で、4つの同好会(将棋、写真、ゴルフ、カラオケ)を結成して活動を行っております。ご興味のある同好会に是非ご入会ください。

将棋同好会	主な活動場所は、埼玉会研修室や大宮周辺の貸会議室です。同好会の後は懇親会も予定します。開催頻度は年に数回です。将棋が好きな方だけでなく、将棋にご興味がある方も歓迎いたします。 (2024年度中に開催することで検討中)
写真同好会	主な活動場所は、埼玉会研修室ですが、野外撮影会を行うこともあります。同好会の後は懇親会も予定します。開催頻度は年に数回で、写真初心者の方も歓迎いたします。 (2024年7月23日に同好会及び懇親会を開催) (2024年11月24日に野外撮影会を開催)
ゴルフ同好会	県内や近隣の県でゴルフコンペを実施し、プレーの後は表彰式を兼ねたパーティーを行っています。開催頻度は年に数回です。ゴルフが好きな方だけでなく、腕前に関係なくゴルフにご興味がある方も歓迎いたします。 (2024年7月12日に中軽井沢カントリークラブにて開催)
カラオケ同好会	主な活動は、大宮周辺のカラオケルームにて実施し、同時に懇親会も行う予定です。開催頻度は年に数回です。カラオケが好きな方だけでなく、カラオケにご興味がある方も歓迎いたします。 (2024年度中に開催することで検討中)

・ 申込方法 ・

埼玉会事務局宛て (saitama@sec.jicpa.or.jp) に下記5点をご連絡ください。

「ご希望の同好会名」、「氏名」、「会員番号」、「電話番号」、「メールアドレス」

※既にご入会いただいている方は、手続きの必要はございません。在住会員もご入会いただけます。

巡回研修会越谷大会

令和6年7月8日巡回研修会越谷大会が開催されました。研修に先立ち、土屋会長以下数名で越谷市役所に福田晃越谷市長への表敬訪問を行いました。表敬訪問では、埼玉会の取り組みを説明し広報に努めました。その後、場所を越谷市中央市民会館に変えて、巡回研修となりました。研修テーマは、「公認会計士が知っておきたい超高齢化社会における重要事項—民事信託、成年後見、遺言他」です。昨年の所沢大会に引き続き地元紹介のパートに力を入れ過ぎたきらいもありましたが、避けては通れない超高齢化社会に向けて、公認会計士として何ができるかを考える良い機会となったと考えます。研修終了後は、一駅離れた懇親会会場に送迎バスで移動し、夏の最中、汗をかきながらしゃぶしゃぶを堪能しました。懇親会には、表敬訪問した福田晃越谷市長と地元越谷市選出の黄川田仁志衆議院議員にも参加していただきました。会員同士の友好を深める機会となるのみならず、市長及び代議士から市政・国政に関する情報を直接に聞くことができた意義深い場となりました。(中井 真人)



年末研修会・厚生講座・忘年懇親会

2024年12月14日(土)に年末研修会、厚生講話及び忘年懇親会を開催しました。

年末研修会のテーマは「公認会計士に求められるプレゼンテーションスキル向上研修会」で、講師に株式会社ボイスクリエーションシュクル代表取締役、一般社団法人日本声磨き普及協会代表理事の佐藤恵様をお招きし、声のチカラの知られざる効果、インプレッションマネジメント、一步先行く公認会計士のためのプレゼンスキルアップ演習等について講義していただき、大変有意義な研修会でした。

また、厚生講話は厚生委員会の事業であり、真言宗豊山派布教研究所所長、江戸川区鹿骨密蔵院住職の名取芳彦様をお招きし、「心の健康を保ち、長く社会に貢献するには ~仏教の教えを通じて~」というテーマで、仏教、キホンのキ、やり方三種、有為(畏)と無為(畏)、蓮、不動(明王)、慈悲等についてお話しいただき、こちらも大変有意義な講話となりました。

その後、木曽路大宮店で忘年懇親会を開催しました。工藤副会長の挨拶に始まり、乾杯は宮原相談役、指名制による複数の会員の自己紹介と進み、締め挨拶は遠藤忠宏会員でした。40名程の会員が集まり、美味しいお酒やお料理を堪能しました。(中澤 仁之)



株式会社ボイスクリエーションシュクル 代表取締役 佐藤 恵様
江戸川区鹿骨密蔵院 住職 名取 芳彦様



埼玉県知事表敬訪問

土屋会長、工藤副会長、大塚副会長、小笠原常任幹事及び佐久間の5名と菅野事務局長で、9月20日（金）10時に埼玉県の大野元裕知事を表敬訪問いたしました。県庁側からは、県監査事務局の西村朗事務局長が同席されました。

土屋会長が、パンフレットとSAITAMA CPA NEWSを用いて大野知事に今年度の会務の説明をいたしました。会務の説明の中で、佐久間が説明した中小企業支援コンベンションの開催内容に対し

て、大野知事は、衰退期の支援について特に関心を持たれていました。さらに、大塚副会長が説明した「ハロー！会計」と「公認会計士制度説明会」についても、大野知事は、会計教育の観点から埼玉会が重要な役割を持っていることについて言及しておられました。

大野知事から県政に対する埼玉会の支援について感謝のお言葉を頂戴し、今後も埼玉県と埼玉会とが良好な関係が継続されるように確認しあい、実りある表敬訪問となりました。
(佐久間仁志)



埼玉弁護士会との交流会

2024年10月15日にカンデオホテル大宮1階のGinger's Beach OMIYAにて埼玉弁護士会との交流会を開催いたしました。

今回の交流会は、埼玉弁護士会所属の若手弁護士と公認会計士協会埼玉会青年部を中心とした公認会計士が、地域に根差した幅広い活動のためにそれぞれの業務における連携または情報交換のための交流の場を設ける目的で開催いたしました。

埼玉弁護士会の上田裕副会長からの開会の挨拶と乾杯からはじまり、その後、埼玉弁護士会と公認会計士協会埼玉会の参加者から各自自己紹介の挨拶をお願いしようとしたところ、個々に積極的な交流がはじまりましたので、埼玉弁護士会の幹事の方と目を合わせ、自己紹介の時間は必要ないなということで、賑やかで楽しい交流会がはじまりました。

立食形式のため移動をスムーズに行えることから、より多くの弁護士と公認会計士とが面識を持つことができ、交流を深めることができました。

最後に公認会計士協会埼玉会の佐久間仁志副会長の締めの挨拶により交流会は終了しました。埼玉弁護士会の皆様から来年もぜひ開催しましょうとの声がありましたので、ご興味のある方は来年ぜひ参加してみてください。

(細田 康弘)



暮らしと事業のよろず相談会

2024年11月2日（土）の10時30分から15時30分に、浦和のコルソ7階ホールにて「暮らしと事業のよろず相談会」が開催されました。公認会計士埼玉会からは、私を含め、業務担当副会長の佐久間先生、業務担当幹事の細田先生、研修担当中井先生の4名で参加致しました。

当日は朝からあいにくの雨天となりましたが、午前10時30分の開始前から、大勢の相談者にご来場いただき、相談件数は前回並みの260件となりました。

よろず相談会は、主に埼玉県の士業（弁護士、司法書士、土地家屋調査士、税理士、行政書士、社会保険労務士、不動産鑑定士、公証人、中小企業診断士、弁理士、公認会計士）の方々が、暮らしと事業に関する相談者の悩みにお答えします。相談内容は、当番会である埼玉弁護士会の皆様に振り分けていただきました。全体の相談者を見ると、比較的個人の相談者が多い印象があり、会計士よりも弁護士や税理士に相談者が振り分けられる件数が多かったという印象でした。

また、相談会後には懇親会も開催され、埼玉県の方々と交流も深められました。

ありがとうございました。

(小林 正和)



埼玉大学公認会計士制度説明会

2024年7月11日、埼玉大学経済学部の澤井准教授が担当されている「企業会計総論」の講義時間をお借りし、公認会計士制度説明会を実施いたしました。説明会は、長岡常任理事（広報委員）の司会で始まり、大塚副会長による開会の挨拶の後、私、安保が公認会計士制度の概要について説明いたしました。制度説明では、公認会計士の使命やプロフェッショナルとしての活躍フィールド、試験制度の概要について説明し、自身の経験談や感想についても述べさせていただきました。さらに、合格体験談として埼玉大学の卒業生である黒川 晃準会員（現在は会員）にお話しいただき、最後に筑紫 徹会員と元田 康博会員も加わり、質疑応答を行いました。質疑応答では、先生や学生から多岐にわたる質問が寄せられ、それぞれの立場から多角的な回答を行うことで非常に有意義な時間となりました。その結果、アンケートの回答も好意的なものも多く、公認会計士への関心の高さがうかがえる説明会となりました。最後に、澤井准教授をはじめ、開催にご尽力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。（安保 真人）

ハロー！会計 サマースクール

2024年7月27日（土）に「ハロー！会計 サマースクール」を開催し、小学4年生～6年生を対象に「～監査体験～ワタアメ会社の会計をみてみよう！」を実施しました。小学生がジュニア公認会計士となって、会計のルールや監査のキホンを学んだ後に、「東京ワタアメ株式会社」の監査を体験し、発見事項を発表しました。また、昨年は1回開催だったのに対し、今年は同日2回開催となり、より多くの小学生に参加していただきました。長岡常任幹事の司会のもと、土屋会長にご挨拶していただき、社長役として大川会員、テーブルコーチに鈴木会員、森山会員、馬場会員、武田会員、元田会員にご協力いただき、講師は織田が担当しました。沢山の小学生が決算書の誤りを発見し、同期間開催のパリオリンピックと同じくらい盛り上がりました。アンケート結果では、「授業が楽しかった」「公認会計士の仕事に興味を持った」「すごく貴重な体験になった」「来年も参加したい」等の感想を沢山いただきました。小学生が公認会計士や監査という仕事に興味をもつ良い機会になったと思います。当日の運営にご尽力いただきました皆様に御礼を申し上げます。（織田 智美）



獨協大学寄付講座

2024年10月17日（木）、18日（金）の二日間、獨協大学経済学部の松原沙織教授が御担当する会計学と会計学原理にて、昨年に引き続き寄付講座を実施させていただきました。10月17日（木）は、会計学の1コマを頂戴し、「起業と会計税務」というテーマで講義をさせていただきました。簿記の知識をお持ちの学生が参加されているため、身近な会計処理から起業した場合の会計処理や税務論点まで御説明させていただきました。松原教授の御尽力の下、経済学部の教授の方々にお声がけいただき、200名近い学生の参加となりました。10月18日（金）は会計学原理の1コマを頂戴し、「IPOと不正」というテーマで講義をさせていただきました。現在のIPOの状況や上場後の不正に関するお話をさせていただきました。両方の授業後に個別に質疑応答の時間を設けさせていただき、実際に公認会計士を目指している方からのご質問から、具体的な企業の会計に関する質問など、多くの学生とお話しする機会をいただきました。米国公認会計士を目指されている学生が多くいらっしゃり、学生の皆さんが自身の将来を真剣に考えられている姿が特に印象に残っております。来年度も是非寄付講座開催の機会を頂戴できればと考えております。（高畑 明久）



淑徳与野中学校キャリア教育講座

2024年10月26日（土）、昨年に引き続き淑徳与野中学校の1年生特進コース118名が参加の下、キャリア教育講座を開催させていただきました。長岡常任幹事の司会の下、大塚副会長の御挨拶から始まり、私高畑から公認会計士の制度及び試験について説明させていただきました。織田会員からは女性会計士としてのキャリアプラン・ライフプランを御説明いただきました。生徒の皆様は真剣に耳を傾けている様子が伺えました。説明が一通り終了した後は、織田会員、西川会員、高畑の3名で全体的な質疑応答を行いました。開始当初は静かな立ち上がりでしたが、一人の生徒さんが質問をしてくださった後は非常に活発に質問が飛び交いました。授業終了後も、個別に質問されたい生徒さんが多くいらっしゃり、当日参加した全員で同時に対応する場面も見られました。終了後のアンケートでは、公認会計士という名前すら知らなかったが説明を聞いて興味を持った、将来の選択肢の一つとして考えたいという嬉しい意見が見られました。今後も生徒の皆さんのキャリアの選択肢を広げられるよう、様々な場で開催の機会を頂戴できればと考えております。（高畑 明久）



駿河台大学公認会計士制度説明会

2024年11月29日（金）に、駿河台大学経済経営学部 市川紀子教授が担当されている簿記原理Ⅱの講義時間をお借りし、公認会計士制度説明会を開催しました。1時限目の朝早く寒い時間帯の開催でしたが、多くの学生にお集まりいただきました。

長岡常任幹事司会のもと、大塚副会長よりご挨拶をいただき、私、大川より公認会計士の使命や活躍のフィールド、試験制度について説明しました。その後、合格体験談として、駿河台大学の卒業生である船津丸会員、木村会員に、ご自身の学生生活や試験合格後のキャリア、公認会計士の魅力と今後の可能性についてお話しいただきました。幅広い分野で活躍されている卒業生の姿は、在校生にとって良い刺激になったと思います。

参加者の多くが1年生ということでしたので、今後の進路を考えるうえで今回の説明会が参考になれば幸いです。そして、公認会計士試験に多くの学生がチャレンジしてくれることを願っています。市川教授をはじめ、開催にご尽力いただきました皆様に御礼を申し上げます。（大川 千仁）



高校生向け公認会計士紹介講座

2024年12月8日（日）に埼玉会事務局研修室において、会場・オンライン参加型で高校生向けの公認会計士紹介講座を開催しました。

第一部では織田会員がファシリテーター、高畑会員、西川会員、馬場がパネリストとなり公認会計士の活躍フィールド、公認会計士試験の概要、公認会計士の魅力についてパネルディスカッションを行いました。参加者からの事前質問を中心に、試験合格後のキャリアや一日の仕事の流れ・忙しさ、AIに仕事を奪われるかどうかなど、たくさんの質問に答えることができました。

第二部では来場いただいた方と直接お話をしました。最初は緊張している様子でしたがすぐに打ち解け、終始笑顔の絶えない和やかな雰囲気が進めることができました。第一部では聞けなかった深く具体的な話やユーモアあふれるエピソードなど、来場者にとって大変有意義な時間であったと思います。オンラインでは難しいリアルな公認会計士の姿を感じ取ることができたのではないのでしょうか。

当講座の周知に奔走いただいた市村さんをはじめ事務局の皆さま、事前質問の調整やスムーズな進行をいただいた織田会員、ならびに開催にご尽力いただきました皆様に感謝申し上げます。（馬場 康徳）



中小企業支援コンベンション2024

2024年10月23日（水）に「中小企業支援コンベンション2024」をホテルブリランテ武蔵野2階サファイアにおいて、また、コンベンション終了後、同ホテル2階エメラルドAにおいて懇親会を開催しました。ご来賓・ご招待者と埼玉会会員を併せて100名近くの方にご出席いただき、盛大に開催することができました。

前回のコンベンションは2018年10月でしたので実に6年ぶりの開催となります。

今回は、中小企業の課題解決のための支援を担う関係諸団体の皆様との意見交換の場を設け、連携を強化することで、充実した実効性のある中小企業支援・地域経済の活性化を図るべく、「中小企業のライフサイクルに応じた支援～行政・金融機関・専門士業と公認会計士の連携～」をテーマに、中小企業のライフサイクルの各段における支援で実績の高い埼玉会会員による事例中心の研究発表とパネルディスカッションを行いました。

中澤副会長による司会のもと、工藤副会長の開会の辞、佐久間副会長の主催者挨拶の後に、ご来賓の財務省関東財務局長目黒克幸様と日本公認会計士協会南成人副会長にご挨拶をいただきました。また、日本公認会計士協会渋谷寿彦常務理事より協会本部による中小企業支援の取組みについて説明をしていただきました。



目黒財務局長あいさつ



南副会長あいさつ



渋谷常務理事
協会取組み説明

その後、青山常任幹事がコーディネーターとなってパネルディスカッションが行われました。最初の総論セッションとして、「中小企業に共通する課題とライフサイクルに応じた支援が必要な理由」「公認会計士による中小企業支援に関するスキルセットの源泉」「中小企業を取り巻く内外の環境と連携支援の必要性」といった点をテーマに渡邊会員と鈴木会員による発表がなされました。



総論パート 渡邊会員＋鈴木会員

続いて、創業期・成長期・成熟期・変革期における中小企業の特徴を踏まえた支援事例の研究発表とパネルディスカッションが青山会員、藤原会員、塚本会員、上楽会員の4名により展開されました。中小企業が戦略的に事業を開始し、育て、成長させるために必要となる事業計画策定支援、資金調達支援、税務支援、事業承継支援、FA・M&A支援、補助金等の各種支援施策の活用、株式上場支援といった業務について、登壇した4名による自らの経験談などを交えながらの解説は現在の経済環境等を踏まえた現場のリアルさを織り込んだものとなりました。



前半パート 藤原会員＋青山会員＋上楽会員＋塚本会員



次に、変革期・衰退期における中小企業の特性を踏まえた支援事例について、植村会員、武田会員、岸川会員、小林会員の4名による研究発表とパネルディスカッションが行われました。事業再生の様々な場面で公認会計士が提供できる業務内容について分かりやすい解説を行うとともに、破産事例の紹介において発せられた「経営者は孤独であるが、孤立させてはいけない」というメッセージは多くの出席者の記憶に残るものになったと思います。最後に、村田副会長による閉会の辞でコンベンションは閉会となりました。



後半パート 岸川会員+小林会員+武田会員+植村会員

懇親会は、小林常任幹事による司会のもと飯野副会長の開会の辞で始まり、日本公認会計士協会茂木哲也会長他によるご挨拶をいただきました。日本公認会計士協会洪誠悟常務理事に乾杯のご挨拶をいただきしばしの歓談となり大塚副会長による閉会の辞で閉会となりました。



洪常務理事あいさつ



茂木会長あいさつ

懇親会にも多数のご来賓・ご招待者にご参加いただき、懇親を図るとともに中小企業のライフサイクルに応じた支援を実効性あるものにするために関係諸団体の皆様と意見交換することができたのは我々にとって有意義な時間となりました。最後に、6年ぶりの開催となったコンベンションですが、滞りなく開催することができご協力いただきました皆様には厚く御礼申し上げます。



懇親会の風景

履修結果を申告しましょう

—CPD義務達成に向けて—

✓申告もれはありませんか？

2024年4月1日から履修したもので、申告がお済みでないものはありますか？

✓必要な単位数に到達していますか？

次のいずれをも満たす単位数以上を履修し申告する必要があります。

- 1.当該事業年度を含む直前3事業年度合計 120単位
- 2.当該事業年度最低 20単位
- 3.当該事業年度の必須単位数

✓必須単位数は履修・申告しましたか？

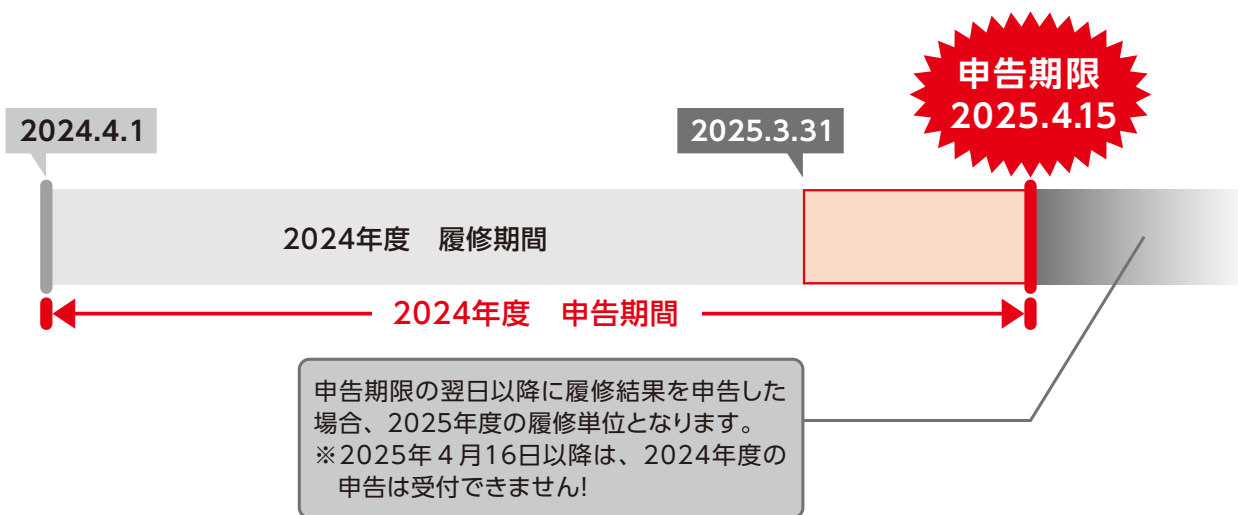
必要な単位数として、次の必須単位数を履修し申告しなければなりません。

- ・全会員(免除の承認を受けた会員を除く) …… 「職業倫理」 2単位
「税 務」 2単位

加えて

- ・法定監査業務に従事する会員 …… 「監査の品質及び不正リスク対応」 6単位
(うち2単位以上は不正事例に該当する研修とする。)

2024年4月1日から2025年3月31日までの履修結果のうち、申告がお済みでないものについては、2025年4月15日までに申告してください。



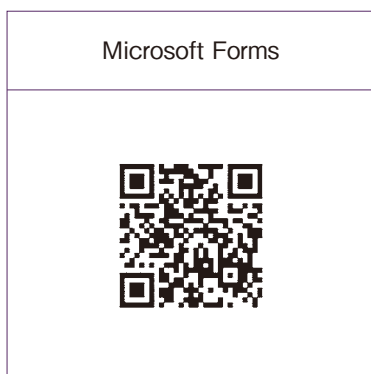
!ご注意ください

※eラーニング、教材での受講については、2025年3月31日までに受講が完了したものが履修結果として反映されます。2025年4月1日以降受講したものについては2025年度の履修結果に反映されますのでご注意ください。

埼玉会では、49歳以下の会員及び準会員による青年部を立ち上げて活動しています。青年部では、勉強会、研修会、懇親会、他士業等との交流会、レクリエーション等の各種行事企画を開催することにより、親睦を図って行きたいと考えています。

各種行事等の連絡を希望される方は、下記のQRコード（Microsoft Forms）よりお申込みください。ご提出いただきましたら後日、事務局より確認メールをお送りいたします。過去にご提出された方は、再度お申込みいただく必要はございません。

その他、何かご不明点がございましたら、埼玉会事務局までお問い合わせください。



お問い合わせ先

日本公認会計士協会埼玉会事務局

TEL：048-644-9050

Mail：saitama@sec.jicpa.or.jp

■■■■■ 皆さまからのお申込みを心よりお待ちしております ■■■■■

部 員 紹 介



お名前

浅古 和則

現在の仕事

財務DD、会計コンサル、
経営・税務顧問（今後やっていきたい）

趣味

ゴルフ、サウナ、ロードバイク

最後にひとこと

24年9月に草加で独立開業しました。中小企業の経営支援をしていきたいと考えています。税務については適宜勉強しようと思っています。

今後、埼玉会にも顔を出せればと思います。よろしくお願いいたします！



事務所所在地はどちらですか？

埼玉県上尾市です。2024年8月にそれまで約3年勤めた税理士事務所から転職し、現在は上尾にある税理士事務所の所属税理士として籍を置いています。

現在の主な業務内容を教えてください

現在の税理士事務所では法人税・消費税・所得税をメインに税務に携わっています。事務所スタッフが作成した試算表や申告書の内容をチェックするのが主な業務です。また、非常勤で会計監査の業務受託をしており、税務と会計監査が半々ぐらいの割合で仕事をしています。

これまでの職歴を教えてください

会計大学院2年生の時に公認会計士試験に合格し、大手監査法人に入所しました。そこでは上場会社やパブリック関係の会計監査業務に従事していました。その後、修了審査を経て公認会計士登録をした半年後に監査法人を退職し、税務経験を積むためにいくつかの税理士事務所働いて現在に至っています。

一度大学を中退した後、再度大学に入り直して会計大学院まで行かれたと伺いました

親が開業医ということもあり医療従事者を目指して歯学部に入学したのですが、大学ではアルバイトと遊びが中心になってしまったことから留年し、最終的には退学してしまいました。その後は塾講師や営業職、コンビニのアルバイトなど様々な仕事をしていたのですが、やりたい仕事に就くには大学を卒業する必要があると自覚し、改めて大学に入り直すことにしたのです。予備校に通って受験勉強をし、センター試験や一般入試を受けて26歳で再び学生生活を送ることになりました。

周りは18、9歳の若い子だらけで20代半ばの人間が一人教室に置かれるような状況でしたが、大学の同じクラスに塾で教えていた生徒がいてまさかの感動の再会、その子は私を当然のように「先生」と呼ぶので不思議な空間がそこには広がっていたと思います。

公認会計士を目指したキッカケは何ですか？

将来のことを考えたときに何か資格を取らなければいけないと思い、入学することとなる大学で資格取得講座が開講されているのを知りました。まずはどんな資格があるか探したのですが、大学卒業時には30歳になっていることから公務員は年齢的に厳しいとあきらめ、次に目に入ったのが簿記でした。簿記について詳しいことは知らなかったものの、塾講師として数学を教えていたことから数字アレルギーはないので大丈夫だろうという軽い気持ちで簿記を勉強することにしました。

始めたころは難しくとても苦労しましたが、勉強を進めていくうちにどんどん楽しくなってきた1年生のときに3級と2級を取得できました。その勢いで一気に1級まで取ろうと勉強したものの挫折してしまいそのまま4年生を迎えたのですが、これではやりたい仕事に就けるかどうかかわからないと悩んでいるときにゼミの指導教授から公認会計士を目指すことを勧められたのです。会社勤めしながらの合格は難しいと言われたため会計大学院へ行くことにし、会計大学院と受験予備校のダブルスクールで必死に勉強し、大学院2年生のときに公認会計士試験に合格することができました。所属していたゼミの歴史上第一号の公認会計士試験合格者になれたのは良い思い出です。

医療従事者の道はあきらめました。経済分野の最高峰である会計士試験をパスして医者である親や周囲の人を認めさせたい、今から思い返すと当時はそんな気持ちが強かったのではないかと思います。

受験時代の思い出はありますか？

32歳の時に論文式試験に合格したのですが、年齢的に若くないので背水の陣を敷いたのが功を奏しましたね。合格するという気持ちだけは誰にも負けていなかったと思います。

当時は朝4時に起きて、5時から10時頃までコンビニでアルバイトをして、その後会計大学院と予備校での勉強、さらに時間があればコンビニでアルバイトするという生活を2年間していました。コンビニのアルバイトは熟練していたということもあり、今でいうところのスキマバイトのように1、2時間の短時間でも働かせてくれて、収入面で助かるとともに勉強の合間の気分転換にもなってくれました。

得意科目は何でしたか？

計算科目です。コンビニでのレジ打ち・レジ締めや塾での数学講師の経験から数字を扱うことに慣れていたのでかかぬ。

苦手科目は何でしたか？

監査論や企業法などの理論科目の暗記がしんどかったです。まだ監査の仕事に就いてないのに監査の話聞かされても理解が追い付かず大変苦労しました。

ご出身は？

群馬県太田市です。また、最初の大学生のときは横須賀に、2回目の大学生のときは登戸に住んでいました。

埼玉県でゆかりのある地や好きな場所などはありますか？

私が群馬県出身で妻が宮城県出身のため、起点となる大宮近辺で家を探して現在は東大宮に住んでいるのですが、住み心地がよくとても満足しています。東大宮と言えば焼き鳥というほど焼き鳥屋が多く、また、昔から営業している個人のお店も充実しているなどおいしい飲食店がたくさんあります。

趣味はありますか？

落語と宝塚です。これらは家族が好きなのでその影響を受けたのだと思います。

落語は時間さえあれば都内の寄席に足を運びます。池袋や上野の寄席には週1ペースで通っていたこともあります。大学院生だった頃は学校終わりに落語を聴きながら高田馬場から池袋までの帰り道を散歩し、池袋の寄席で落語を楽しむといったこともやっていました。頻繁に寄席へ通う中で落語家の方々とも交流を持つようになり、自分の結婚式には落語関係の人が20人程度参列してくれました。彼らはスピーチ上手だし、余興として普段寄席でやっているような本格的な大道芸やマジックを見せてくれたのは大変うれしい思い出です。また、笑点メンバーにも年賀状のやりとりをする関係の落語家がいまし、宝塚については義理の妹が昔宝塚の男役を演じていたことがあるなど何かと縁があります。妻は私の母や妹と一緒に宝塚を観に行く機会が多く、落語も宝塚も家族のコミュニケーションにとって不可欠な存在になっています。

休日はどう過ごしていますか？

1歳半になる子どもの面倒を見ています。今は子ども中心の生活になっていますね。妻が仕事に行っている時は家で自分の仕事をやりつつ子どもの世話をするなどしています。何をしてもとにかくかわいいので自他ともに認める親バカになっています。

埼玉会の会務への関わりはありますか？

ハロー！会計・制度説明特別委員会のメンバーとして広報活動に関与しています。埼玉会に加入した当初はコロナ禍でオンラインによる活動がメインでしたが、ここ最近ではリアルでの開催に切り替わり、ハロー！会計や高校生・大学生向けの公認会計士制度説明会に携わることができました。

埼玉会へのご意見やご要望はありますか？

コミュニケーションスキルに関連する研修として、話し方のコツなどを話術に長けた落語家をお願いするのも一案かと思っています。これまでに私が知り合った落語家に講師として依頼をして、併せて落語を1席打ってもらっても面白いなと思いますがいかがでしょうか。打ち上げにも喜んで参加してくれますから、一緒に写真を撮ったりおしゃべりしたり楽しく交流できると思いますよ。

最後に今後の目標についてお聞かせください

現在は所属税理士として働いていますが、いずれは一国一城の主として事務所を経営する立場として働きたいと考えています。また、職業会計人を目指す若い人を一人でも多く増やすことができるよう、広報活動を通じて我々の知名度向上を図っていきたいです。さらに、良くも悪くも色々な道をたどり色々な経験をしてきたのが強みですので講演活動や、塾講師の経験も生かして高校や大学などでの非常勤講師にもチャレンジしてみたいです。



(取材・文：鈴木雅也)

◆ 会員慶弔見舞

(掲載許可をいただいた方のみ記載しています。)

謹んでご冥福をお祈りいたします

荒井 伸夫 様 2024年6月17日ご逝去 77歳 (会員)
日比野 博 様 2024年8月2日ご逝去 90歳 (日比野博美会員 御尊父様)

◆ 会員数 (2024年11月30日現在)

種 別	会 員				準 会 員						合 計
	公認会計士	外国公認会計士	監査法人	計	一号準会員	二号準会員	三号準会員	四号準会員	五号準会員	計	
埼 玉	913	0	0	913	4	29	0	106	—	139	1,052
全 国	36,688	1	288	36,977	73	476	0	6,009	209	6,767	43,744

- (注) 1. 一号準会員は、公認会計士及び外国公認会計士となる資格を有する者
2. 二号準会員は、会計士補
3. 三号準会員は、会計士補となる資格を有する者
4. 四号準会員は、公認会計士試験に合格した者 (一号準会員に該当する者を除く。)
5. 五号準会員は、特定社員 (地域会には所属しない。)

◆ 編集後記

『SAITAMA CPA NEWS』19号をご覧いただき、誠にありがとうございました。また、今回も多くの会員の皆さまに原稿をご執筆いただきましたことに、心より感謝申し上げます。

誌面を振り返ると、多くの写真が掲載されており、対面でのイベントが活発になっている様子をお感じいただけるのではないのでしょうか。また、今号では、無事成功を収めた「中小企業支援コンベンション2024」の開催報告を掲載しております。今後も、我々公認会計士のプレゼンス向上に貢献できるような記事をお届けできるよう努めてまいります。

次号が発刊される頃には、新執行部による体制がスタートしております。次号では、新体制の紹介をはじめ、埼玉会をより身近に感じていただける記事をお届けしたいと考えております。引き続きご愛読いただけますと幸いです。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

(SAITAMA CPA NEWS 特別委員会)

埼玉会ホームページ <https://saitama.jicpa.or.jp>

会員専用ページへアクセスするためのID・パスワードは協会本部ウェブサイト会員マイページへアクセスするためのID・パスワードと共通です。

日本公認会計士協会埼玉会

〒330-8669
埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-7-5 ソニックシティビル8階
TEL : 048-644-9050 FAX : 048-644-9054
E-mail : saitama@sec.jicpa.or.jp
URL : <https://saitama.jicpa.or.jp>



◆ 日本公認会計士協会 埼玉会

SAITAMA CPA NEWS Vol.19 2025.1

発行人：埼玉会会長 土屋 文実男
編集人：副会長 (広報委員会) 大塚 健一
常任幹事 (広報委員会) 筑紫 徹
常任幹事 (広報委員会) 長岡 千晶
幹事 (広報委員会) 大川 千仁
幹事 (広報委員会) 鈴木 雅也

構成：SAITAMA CPA NEWS 特別委員会

安 保 真 人 / 酒 井 健 一
柴 田 英 樹 / 田 中 勇 多
田 村 亮 一 / 高 橋 文 章

印刷所：株式会社正文社

表紙写真：酒井 健一 会員